

道母連だより

新年を迎えて



北海道知事
鈴木直道



新年あけましておめでとうござ
います。

社会福祉法人北海道母子寡婦福
祉連合会の皆様におかれまして
は、健やかに新年をお迎えのこと
とお慶び申し上げます。

また、日頃から、ひとり親家庭
の福祉の向上や自立促進にご尽力
いただいておりますことに、深く
感謝申し上げますとともに、この
度、「道母連だより」が、記念す
べき100号を迎えられましたこと
を、心からお祝い申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、
3年を超える長期にわたり、私た

ちの生活に大きな影響を及ぼして
きた新型コロナウイルス感染症の
5類感染症移行という大きな節目
を迎えました。これまでの感染症
対策などにご理解とご協力をいた
だきましたことに、改めて心から
感謝申し上げます。

社会経済活動が活発化する一
方、物価高騰が長期化するなど、
道民の皆様が暮らしや事業者の
方々の経営環境に大きな影響が及
ぶ中、道では、価格高騰等経済対
策を講じるなど、暮らしの安心の
確保を最優先に取り組んでまいり
ました。

また、6月に「こどもまんなか

第100号

発行日/令和6(2024)年1月1日
発行/社会福祉法人北海道母子寡婦福祉連合会
〒060-0003
札幌市中央区北1条東8丁目 北海道母子福祉センター内
電話 (011) 261-0447
●題字は山高しげり先生 ●印刷 樹アイワート

応援サポーター」を宣言し、妊婦
や子ども連れの方に配慮する「こ
どもファスト・トラック」に全て
の道立施設で取り組むなど、子ど
もたちや子育て中の方々に寄り添
う機運の醸成を図るとともに、道
管住宅への子育て世帯の優先入居
枠の拡充や道の施策への子ども等
の意見の反映に取り組むなど、子
育て支援の充実に取り組んでまい
りました。

道といたしましては、今後とも、
道民の皆様のご意見を丁寧にお聞
きし、国や市町村との連携を強化
しながら、子ども応援社会の実現
に向けた取組を進めてまいります
ので、引き続き、皆様のご理解と
ご協力を賜りますようお願い申し
上げます。
本年が、皆様にとりまして、希
望に満ちた素晴らしい年となりま
すよう心からお祈り申し上げます。
新年のご挨拶といたします。

理事に就任して

理事 甲谷 由美子
(苫小牧風花の会 理事長)

この度、令和5年度北海道母子
寡婦福祉連合会の役員改選にあたり
理事の役をお引き受けいたしました。
した。

私の中では、コロナ禍の現状で
苫小牧風花の会の運営、人材確保
と共に就労の場の確保等、地元
課題が山積したなかでの承諾は無
理との結論でした。

断ることを前提に風花の会の顧
問に報告をいたしました。顧問よ
り、風花の会は会員たちの子ども
達が奨学金を頂いたり、全国のい
ろいろな研修に参加し各単位の
皆さんと交流し勉強をさせて頂い
たことを、次の役員へ繋げる期間
と思い引き受けるように説得をさ
れました。

繋ぎの役目と思えば少し気持ち
が軽くなり今期の理事を承諾いた
しました。

みなさまのご支援とご指導を頂
き努力を惜しまず務めさせて頂き
ますので、よろしくお願いいたし
ます。